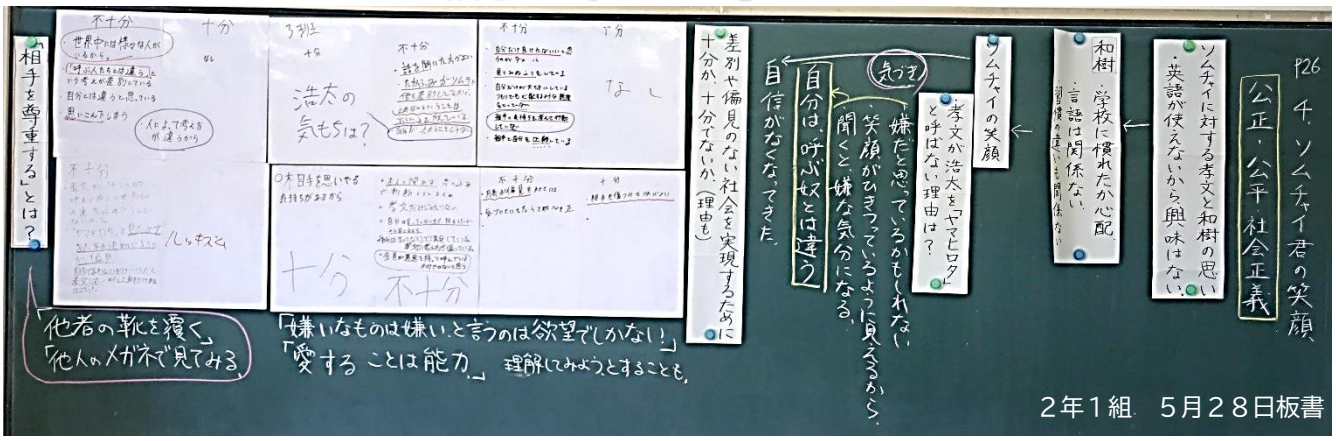
道徳通信

明日への扉

令和６年　６月発行
第　３　号
富士中学校　道徳部会

２学年　「ソムチャイ君の笑顔」
まずは「知ろう」とするところから
～「相手を尊重する」とは～



●「差別や偏見のない公平な心」を主題とした授業。差別や偏見は、大なり小なり誰もが経験してきたことです。今回は友人和樹と転校生ソムチャイのやりとりを見て、自分を振り返ります。「自分の態度、姿勢は、本当に浩太を大切にしていると言えるのか。」

●「相手を尊重する」ためには、まず「知ろう」とすることが大事だ、という意見が出ました。直接聞けるのなら聞く。話せるのなら話す。それができない遠くの人・事、昔の人・事なら、様々な方法を用いて「知ろう」としてみること。知って、考えることで、行動できます。

明日への扉を開く鍵

今回は「学校図書館」の本です。

富士中にある本の中から、道徳に関する図書を紹介していきます。自分の視点を広げたり、考えを深めたりするきっかけにしてみましょう。

視点・鍵　：　差別や偏見のない社会の実現

「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」　ブレイディみかこ　新潮社

イギリス在住の筆者の息子が通う、人種も貧富の差もごちゃまぜの元底辺中学校の学校生活を描いたノンフィクション。世界の縮図のような日常の中で出てくる言葉にはっとさせられます。

「他者の靴を履く」というエンパシーを知ることで、新たな視点を得ることができる一冊です。

続編では摂食障害や薬物依存やジェンダーについてもっともっと考えさせられます。知らないなんて、もったいない！ ブレイディみかこさんの他の作品もおすすめです。富士中学校図書館にありますよ。

「ようこそ、難民！　100万人の難民がやってきたドイツで起こったこと」　今泉みね子　合同出版

2015年の夏休みの終わり、マックスが公園で出会った“言葉をなくした少年”は、シリアから逃げてきた難民だった。大人たちは「違い」を恐れ「無知」ゆえに「難民はこの国から出ていけ」と叫ぶ……。

大量の難民がおしよせたドイツで起こったこと。マックスたちはどんな行動を選んだかを読みながら、「日本だったら、近所だったら、自分だったら」を考えてみよう。

どちらも図書館内「創るために戦う」コーナーにあります。